

12月は地球温暖化防止月間です

12月は、地球温暖化防止月間です。地球温暖化は、猛暑や豪雨など、私たちの生活にも大きな影響をおよぼします。地球温暖化の原因となる温室効果ガス。なかでも、その多くを占める二酸化炭素は、私たち一人ひとりの行動で排出を減らすことができます。例えば、今回特集したプラスチックごみは、燃やすと二酸化炭素が多く発生します。適切に分別してプラスチックごみの排出を抑えることで、地球温暖化を防止しましょう。

地球温暖化防止に関するイベントのお知らせ

「緑のカーテン」は、つる性の植物を窓の外に這わせることで夏の日差しを和らげ、室温の上昇を抑える自然のカーテンです。自然に親しみながら、緑のもたらす涼しさを体感したり、素敵なグリーンインテリアとしても楽しめます。

さらに、冷房によるエネルギー使用量を減らす省エネ効果、植物の光合成で二酸化炭素が吸収されることによる地球温暖化防止効果などが確認されています。

12月の地球温暖化防止月間に合わせて、市では次のイベントを実施します。是非ご参加ください。

地球温暖化防止月間啓発展示

日 12月6日(火)～16日(金)8時30分～17時15分 ※ 16日は15時まで

場 市役所1階ロビー

内 緑のカーテンに関する応募作品の展覧会など

第7回緑のカーテン情報交換会

日 12月13日(火)13時～14時30分

場 市役所1階102会議室

料 無料

内 (1部) 育成情報交換会 (2部) 環境のお話

主催 つるがしま緑のカーテン市民実行委員会

他 参加者に、花の種をプレゼント



特集 プラスチックごみを 減らそう

問合先 生活環境課環境推進担当

世界の海で起きていること

いま、海に流出するプラスチックが、世界的な問題となっています。

数年前、海岸に打ち上げられたクジラの胃から、40kgものビニール袋が出てきたというニュースが流れました。クジラは、消化されないプラスチックごみをエサと間違えて食べ、胃の中がプラスチックごみでいっぱいになってしまい、本来のエサを食べられずに死んでしまったと見られています。同様に、死んだ海の生き物からプラスチックごみが発見される事例が世界各地で報告されています。

なぜ、海の生き物がプラスチックを食べってしまうのでしょうか。それは、私たちが使ったプラスチックのごみが、大量に海に流れ出てしまっているからです。



2050年、海のプラスチックごみが魚の量を上回る!?

プラスチックは軽く丈夫で加工しやすく、私たちの生活の様々な場面で利用されています。

しかし、便利な反面、レジ袋や商品のパッケージなど、使い捨てにされるプラスチックもたくさんあります。そうしたプラスチックがポイ捨てされたり屋外に放置されたりすると、雨や風によって河川に入り、海に流れ出てしまいます。そして、大量に海に流れ出たプラスチックごみが、生態系に悪影響をおよぼすという問題が発生しているのです。世界経済フォーラムの報告で

は、2050年には海のプラスチックごみが魚の量を上回ると予測されています。

私たちにできることは?

私たちがプラスチックごみを出さないためには、どんなことができるでしょうか。ポイ捨てをせず、プラスチックを適切に分別して、資源としてリサイクルすることはとても大切です。そして、これからの私たちは、適切なリサイクルに加えて、使い捨てプラスチックの利用自体を減らすことに取り組んでいく必要があります。

使い捨てプラスチックの使用規制・削減は、世界各国に広がっています。日本では、本年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されました。「プラスチックは、えらんで、減らして、リサイクル」を合言葉に、事業者、消費者、自治体が一体となってプラスチックの3R(※)などを進めていこうとしています。

海洋国家の日本。ここに暮らす私たち一人ひとりにできることがあります。プラスチックを過剰に使用しないライフスタイルの変革に取り組みしましょう。海の豊かさを守り、この地球で暮らし続けていくために。

※3Rとは、リデュース・リユース・リサイクルの、頭文字「R」からなる3つの取り組みの総称です。

市では、3Rにリフューズとリペアを合わせた5Rに取り組んでいます。

4ページでは、市の5Rの取組をご紹介します。

教えて!

プラスチックごみはどうなるの? ?



2度の手選別で異物を除去します



ペール化してリサイクル業者へ出荷します



みんなで減らそう!
プラスチックごみ



地域住民に親しまれる、安心安全な施設を目指して

令和4年12月1日、新たなごみ焼却施設「埼玉西部クリーンセンター（愛称：クリーンセンターはとやま）」で燃やせるごみの受入れを開始します。

新たな施設では、公害防止基準を守って運営を行い、特にダイオキシン類などについては、自主的に厳しい基準を設定するなど、クリーンで安心安全な施設の運営に努めていきます。

施設の管理棟には、地域住民の交流のシンボルとして、多目的スペースを整備しました。地域コミュニケーションの場を設けることで、地域の皆さんのつながりや連携を構築し、親しまれる施設を目指します。

また、敷地内には自然環境を生かした「エコの広場」を整備しました。野外イベントや防災の拠点としても活用していきます。

～ご注意ください～

令和4年12月1日以降、市内高倉にある「高倉クリーンセンター」では、ごみを受入れませんのでご注意ください。詳細は、広報つるがしま11月号の折込み「ごみコミュニケーション臨時号」をご覧ください。

「クリーンセンターはとやま」施設概要

施設名称	埼玉西部クリーンセンター（愛称：クリーンセンターはとやま）
住所	〒350-0303 比企郡鳩山町大字熊井819番地
電話番号/FAX番号	☎ 049・298・1600 / FAX 049・298・1601
施設規模（処理能力）	130 t / 日（65 t / 日×2 炉）
発電設備	タービン発電（国の基準を満たす高効率な発電設備を設けています）

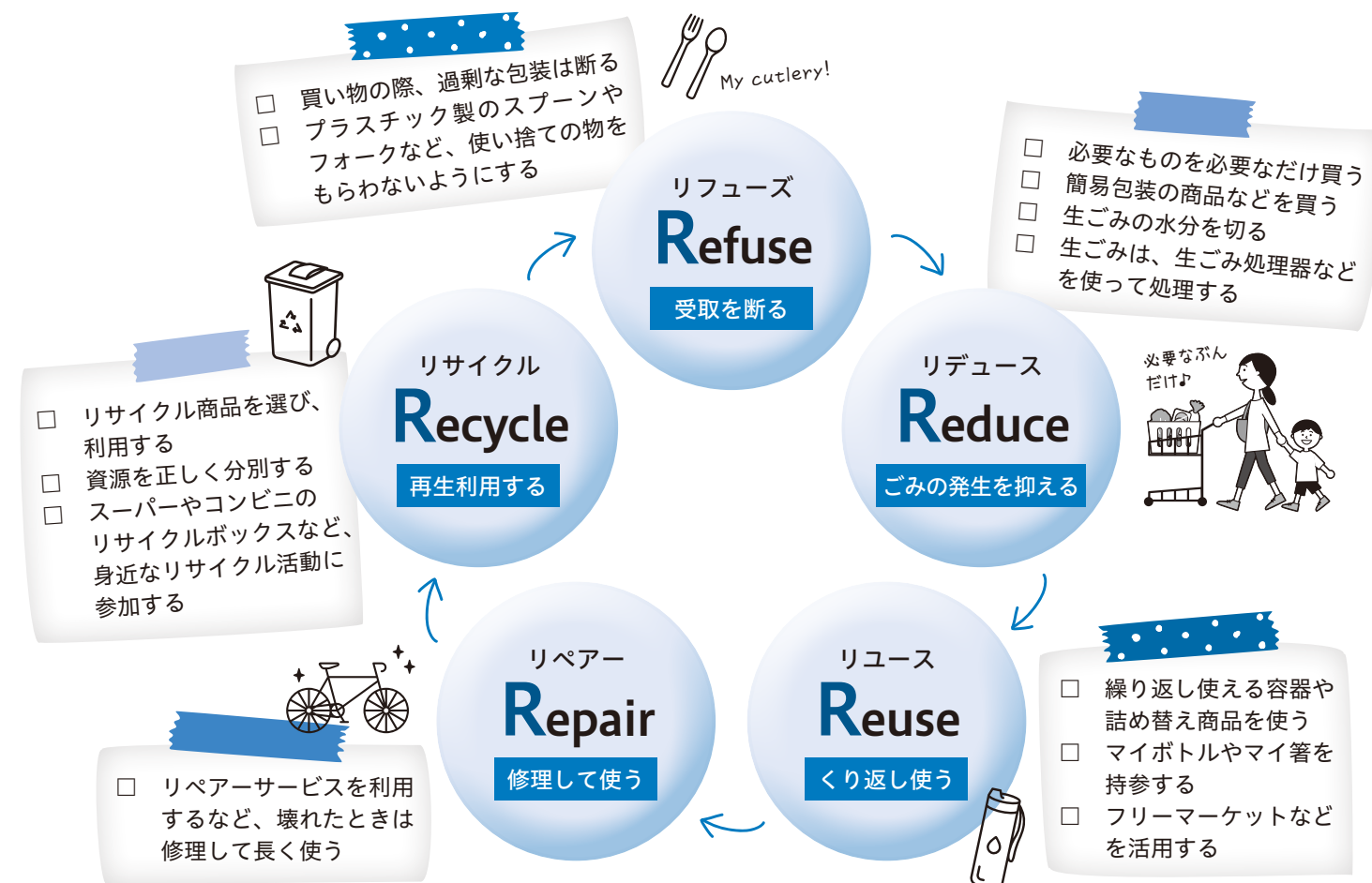
リフューズから始めよう！“5R”の実践

地球を守り、暮らしを豊かに！

5 Rとは、ごみを減らすための“R”で始まる5つの行動のことです。

私たち一人ひとりが5 Rの意識を持ち、実践することは、環境への負荷を減らす第一歩となります。

美しい自然あふれる地球環境を守り、次の世代に引き継いでいけるように、まずは身近なところから始めてみましょう。今すぐ使える5 Rのコツをご紹介します。



市では、市民の皆さんと一緒に、5 Rに関する様々な取組を実施しています。身近なところから5 Rを実践していきましょう。

☝ 使用済みインクカートリッジ、携帯電話、スマートフォンのリサイクルを行っています。

☝ 市役所入口に回収箱を設置してありますので、来庁の際にご利用ください。

☝ 生ごみ減量のために、生ごみ処理器「キエーロ」の販売を行っています（今年度分は完売）。

☝ 市ホームページでは、キエーロを使ったごみ処理の実験をご紹介します。



HPIはこちら



長久保小学校6年 上野このみさん

栄小学校2年 新井廣太朗さん



優秀賞

環境省などが主催する「令和4年度3R促進ポスターコンクール」が開催され、全国約6千点の作品の中から、本市の栄小学校2年生新井廣太朗さんの作品が優秀賞に、長久保小学校6年生上野このみさんの作品が佳作に選定されました。

本市の児童2名が入選しました